



【本校の教育目標】  
 ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成  
 ～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

# 「成就」

安久小学校便り

令和3年  
2月24日発行

## 県緊急事態宣言解除！

1/7(木)に出された新型コロナウイルス感染拡大防止のための、県独自の緊急事態宣言の解除(2/7日)を受け、都城市でも警戒レベルが落とされましたが、まだまだ予断を許さない状況にあります。

学校では、児童玄関前での健康カード確認をしばらくは継続して実施します(都城市内共通実践)。また、今後もマスク着用と手洗い・手指消毒、教室の換気等を徹底していきます。これからも引き続き、発熱やかぜ症状がある場合は、欠席ではなく出席停止となりますので、御家庭で朝の検温を含めた健康管理をよろしくお願いたします。【根気】



## 新入生保護者説明会開催

2/4(木)に標記の会を実施しました。その中で、来年度の新1年生は、男子25名、女子16名、計41名、今後の転入予定者3名を合わせると全校児童287名でスタートする予定で、全学年2学級、特別支援学級が増設予定で知的1、情緒・自閉症2の3学級、計15学級になることをお話ししました。

次に、本校の学校経営ビジョンとこれまでの成果や学校の様子、更に本校の課題と入学までのお願いを伝えました。下に課題とお願いの部分に掲載します。【やる気・気づき・根気・絆】

(前半略)ただ、気になる課題もあります。それは、本校だけではありませんが、年々、児童の耐性(耐える力)が低下しているということです。ちょっとしたことで弱音を吐いたり、我慢したりすることができなくなっている傾向が見られます。これは、児童自身に原因があるのではなく、児童を取り巻く環境が大きく影響していると考えます。本校でも、ちよと雨が降るとおじいちゃんおばあちゃんの車での迎えが多く、歩いて帰る児童に対して影響があり、大変困っております。このことも踏まえ、入学するまでにお願したいことが三つあります。「**一つ、気持ちのよい挨拶や返事をする。二つ、自分のことは自分です。三つ、自分でしっかり歩いて登・下校する。**」です。入学までに、学校までの通学路を必ず一緒に歩いて、次は自分だけでというように段階を踏んで練習しておいてください。本校では、各地区の育成会で登校班を編制していますが、帰りは1年生だけで下校する曜日もあります。4月当初は、本校職員が引率しますが、帰り道が分かるようにしておいてください。それでは、4月9日の入学式を楽しみにしています。

## 給食感謝週間

1/25(月)～29(金)を給食感謝週間に設定し、「給食センターをはじめ関係機関や給食当番に感謝しよう。」という目標で、各学年で手紙やイラスト、川柳等を右の写真のようにファイルにして送りました。

また、給食時間の校内放送で、担当の松岡めぐみ教諭が、感謝週間の意義や給食の始まりについて話しました。【気づき・絆】



給食感謝週間とは、学校給食の意義や役割について考え、理解や関心を深める週間です。学校給食は、明治22年12月24日に、山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧困児童を対象に学校給食が実施されたのが始まりです。献立は、「おにぎり、焼き魚、漬け物」で、無料で実施されました。(略)

児童の手紙や川柳に感激して、給食センターの**加治木ひかり栄養教諭**から2/8(月)に第5学年と第6学年の児童に対して、写真のようにお礼の添え書きと手紙が届きました。また、児童からの質問に対する答えも添えられていました。実は**加治木さん**は、五十市小時代の私の教え子の妹で、よく知っている先生です。【絆】



安久小と中郷中の給食が違うのはなぜ？本市の給食センターでは、一日に約12000食を作っています。一度に同じメニューを作ろうとすると、例えば鶏肉だと約500kg調達しなければなりません。そこで、食材が必ず揃うように、五つのコースに分けてメニューを考えているそうです。そうすれば、鶏肉も約100kgの調達で済むからです。



## 租税教室実施!

第6学年の児童が、2/8(月)に体育館で租税教室を実施しました。都城税務署より2名の方が来校していただき、主に税の仕組みと使われ方について、詳しく説明していただきました。児童にとって身近な消費税だけでなく、所得税や固定資産税等々、いろいろな税があることを知るとともに、その税金が私たちの生活をより豊かにするために使われていること。また、新型コロナウイルス感染予防に関する特別措置にも使われていることを知りました。【気づき】

「租税教室」 6年 ○○ ○○

私は、今日の租税教室で税金の使い道や税金を納めることの義務について学びました。

私たちが、安全で快適な暮らしを送るために、いろいろとところで税金が使われているということが分かりました。DVDでは、税金のない暮らしが描かれていました。そこでは、消防車や救急車を呼ぶのにもお金がかかり、信号もなく事故もたくさん起こっていました。私は、こんな生活はとても想像できませんでした。

改めて、税金の大切さや私たちの暮らしが税金によって支えられていることが分かりました。

「租税教室をうけて」 6年 ○○ ○○

2月8日の6時間目の授業は、いつもとちがって税金のことでした。とても身近なことなのに、知らないことが多かったです。

税の種類だけで、消費税や所得税、住民税など、いろいろありました。税がなくなると考えたことがなかったので、とてもよい機会でした。

毎日通る道だったり、公園だったり、税でいろいろまかっていることを知って、使い方や大切さを改めていきたいです。

## 福祉体験学習—盲導犬



第3学年の児童が、2月17日(水)に福祉体験学習を行いました。本年度も、三股町在住の**藏元茂志さん**を講師として招聘して実施しました。**藏元さん**は、幼い頃に視力を失い、愛犬の**クイニョン**と一緒に生活をしていて、依頼があると福祉体験学習を実施している方です。目が不自由とは思えないほど活動的です。また、愛犬の**クイニョン**は賢く、普段はとてもおとなしい盲導犬です。3年生の学習を終えての感想を下に紹介します。【気づき】

3年 ○○ ○○

きのう、学校にくら元さんが来ました。くら元さんは、目が見えないので、クイニョンちゃんがついて来ていました。わたしが初めて知ったことは、ハーネスをつけないとお店に入れないことです。すごいなあと思ったことは、階段を登るときに、ブリッチと言えば行くからすごいなと思いました。次に、おもしろいことは、階段を登るときです。階段が始まったら止まって、階段が終わったら止まることです。また、くら元さんは目が見えないのにお仕事をしているからすごいなと思いました。わたしは、これから目が不自由な人に出会ったら、助けたいと思います。

3年 ○○ ○○○

もうどう犬が、三またとみやこのじょうで一びきしかいらないことにおどろきました。もうどう犬が、くら元さんの言うことをしっかり聞いていたので頭がいいと思いました。歩いているときにうんがしたくなったらどうするんだろうと思っていたら、ちゃんとくら元さんが、「いよいよ」と言ったときにすることがわかりました。もうどう犬は、年をついたらいたいして、わかっているかなければいけないことがわかりました。とてもさみしいだろうと思いました。目の不自由な人を見かけてこまっていたら、自分から声をかけていきたくと思います。

3年 ○○ ○○

2月17日に、学校にくら元さんともうどう犬が来ました。そこで、こんな話を聞きました。一つ目は、もうどう犬への指じの出し方です。くら元さんが右に進みたいときは「ライト」、左に進みたいときは「レフト」。その他にも、「バック」は回れ右、「ハウス」が家に帰れという意味だと教えてくれました。二つ目は、もうどう犬が、くら元さんの目のかわりになって階段を上がりました。ぼくは、とても心に残りました。もうどう犬になれる犬はラブラドルレトリバーということや、ハーネスをつけていないとお店に入れないことも知りました。さい後に、くら元さんがギターで「ひだまり」をえんそうしてくれました。その音楽は、かなしい曲だったけれど、聞いていて感動しました。ぼくは、目の不自由な人に出会ったら、何か教えてあげたいです。信号で会ったら、助けたいです。